

# 今月のお知らせ

社会教育センター図書室  
28・5449

## おはなし会

町内2つのボランティアグループによる楽しいおはなし会を開催します。

**6/15 ゆめっ子のおはなし会**

とき 6月15日(土)

午後1時30分

ところ 社会教育センター1階

幼児遊戯室

対象 小学校低学年、幼児

**6/13 おひさまのおはなし会**

とき 6月13日(木)

午前10時30分

ところ 総合福祉センター1階の木の

対象 乳幼児

## お詫びと訂正

広報5月号23ページの記載に誤りがありました。読者の皆様、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

(誤) **5/9 ゆめっ子のおはなし会**

(正) **5/9 おひさまのおはなし会**

## 休館

資料整理のため、6月30日(日)は、図書室をお休みします。

7月2日(火)からは通常どおり利用できます。

## 新刊



**児童書** **パンダのパンやさん** (幼児向け)

岡本 よしろう 作絵  
(金の星社)

ふわふわパンのいにおいパンダのパンやさんは、朝からお客さんで大にぎわいです。お店が一段落したら、ぼんだぼんはバイクのって、パンの配達にでかけます。今日は「ぼんだも」緒で……。

**山藤章一**



**昭和よ、**

**一般書** **昭和よ、**  
山藤 章一 著  
(岩波書店)

元号がかわる節目を迎え、平成への思いを綴ろうとしたけれど、脳裏に浮かぶのは昭和の出来事ばかり。昭和を振り返りながら、82才のいま思うことを、おなじみのひとり語り調で、包み隠さず書き下ろしたエッセイ集。

## 豊山俳句クラブ

青山克己 選

石灯笼奥へ誘ふさくら道

青山とも子

平成を令和へつなぐ梅の花

黒澤裕子

しからばとさくらを散らす風になる

高木須磨子

くしゃみしてふと立ち止まる花の道

山下敬太

道つれの蝶をさくらで見失ふ

田村多喜子

藪椿定休日といふ道の駅

坪井昭子

菜畑や蝶は小さく見え隠れ

谷崎 琴

春光や両手でかざす江戸切子

東海林宗義

やはらかき柳に添ひて蔵の町

杉浦みどり

水温むヘレンケラーは日本好き

石黒貴代子

堰を落つ水に遅れし花筏

岡島 齋

春愁や築百年の土の壁

坪井径子

いつせいに崩れるやうに桜かな

青山克己

## 豊山歌壇

水野笑子 選

冬の雨南天の葉にぼつぼつと

落ちる雫に赤き実揺るる

渡辺トヨ子

はやぶさ2のイトカワ着地は

快拳なり技術者の自信あふれる笑顔

中澤芳子

良き知らせハヤブサは任務を

成し遂げて帰路に着くとふ夢物語

山田 米

春待つは人のみにあらず

虫たちも影ひそめつつうごめく気配

小出寿枝

狭庭辺に紅梅まんさく咲き満ちて

春歩み来る気配の嬉し

柴田満枝

亥年とて猪の親子をかき針で編めば

孫らは「ブサカワ」と言ふ

雨水なる今朝降る雨は冷たかり咲き

初む梅の花びら震ふ

荒川昌枝

蟬梅のはなびら透かす光ありて

陰のやさしくそこに春あり

「湯田中」の湯宿にくつろぎ湯に浸り

花咲く会話を忘るる日常

一柳千鶴子

カタカナの字の多くある新聞の

寧ろ難かし昔人間われら

新聞の第二面に知らぬ語を見つ

昔人間の誇りに生きる

水野笑子

## 編集後記

レイチエル・カーソンの「沈黙の春」は、1962年にアメリカで出版された。世界が環境問題に目を向けるきっかけになったともいわれ、今なお語り継がれる名著である。当時、特にアメリカで広く使用されていた殺虫剤などの化学物質が人間に及ぼす悪影響について初めて警告した▼「地球の恩人」とも言われる著者は、子どもに自然界の美しさ、不思議さを感じさせることの大切さも語っている。海辺に轟く波の音や夜空に瞬く北斗七星を通じて養われる感性「センス・オブ・ワンダー」は、人間とほかの生命体・自然との関係に目を向けるきっかけにつながる▼特集でお知らせしたように、町は、地球温暖化について考えるきっかけにしていた。くために親子で星空を鑑賞する催しを開催する。本格的な天体望遠鏡に触られたり、星空の解説を聞くことのできる貴重な機会である▼レイチエル・カーソンは、「私たちはそろそろ、望遠鏡を反対側からのぞいてみていいのではないか：人間を広く遠い視野のなかに置いてながめれば、地球環境を壊すような行為は減る」とも言った。星を眺め、かけがえのない地球に思いを馳せていただきたい。